

# CO<sub>2</sub>を高度利用したCARBON POOLコンクリートの開発と舗装および構造物への実装

**事業の目的・概要**

【研究開発項目1】セメント焼成工程などで発生するCO<sub>2</sub>を、コンクリート由来の産業廃棄物に固定化させるという**地域内循環**を構築し、さらに新たな技術を用いて引き渡しまでに**CO<sub>2</sub>固定量を最大化**したCARBON POOL (CP) コンクリートを開発する。CPコンクリートの施工性や耐久性を確保し、**舗装のみならず、建築・土木構造物にも実装**する。

【研究開発項目2】LCCO<sub>2</sub>・LCA・LCCの総合評価システムを構築することにより**ESG金融の促進**や**カーボンプライシングをサポート**し、脱炭素社会に貢献する。

**実施体制** ※太字：幹事企業

**株式会社 安藤・間**、株式会社内山アドバンス、灰孝小野田レミコン株式会社、大阪兵庫生コンクリート工業組合、大成ロテック株式会社、一般財団法人電力中央研究所  
 (再委託予定先：株式会社浅沼組、青木あすなる建設株式会社、日本道路株式会社、株式会社佐藤渡辺、国立大学法人東京大学、公立大学法人東京都立大学、国立研究開発法人国立環境研究所、明星大学)

**事業規模等**

- 事業規模 (1 + 2) : 約100億円
- 支援規模 (1 + 2) \* : 約88億円  
 \*インセンティブ額を含む。採択テーマの提案総額であり、今後の手続きにより変更の可能性あり
- 補助率など
  - 1 (委託) 9/10 → (補助) 2/3 → 1/2 (インセンティブ率は10%)
  - 2 (委託)

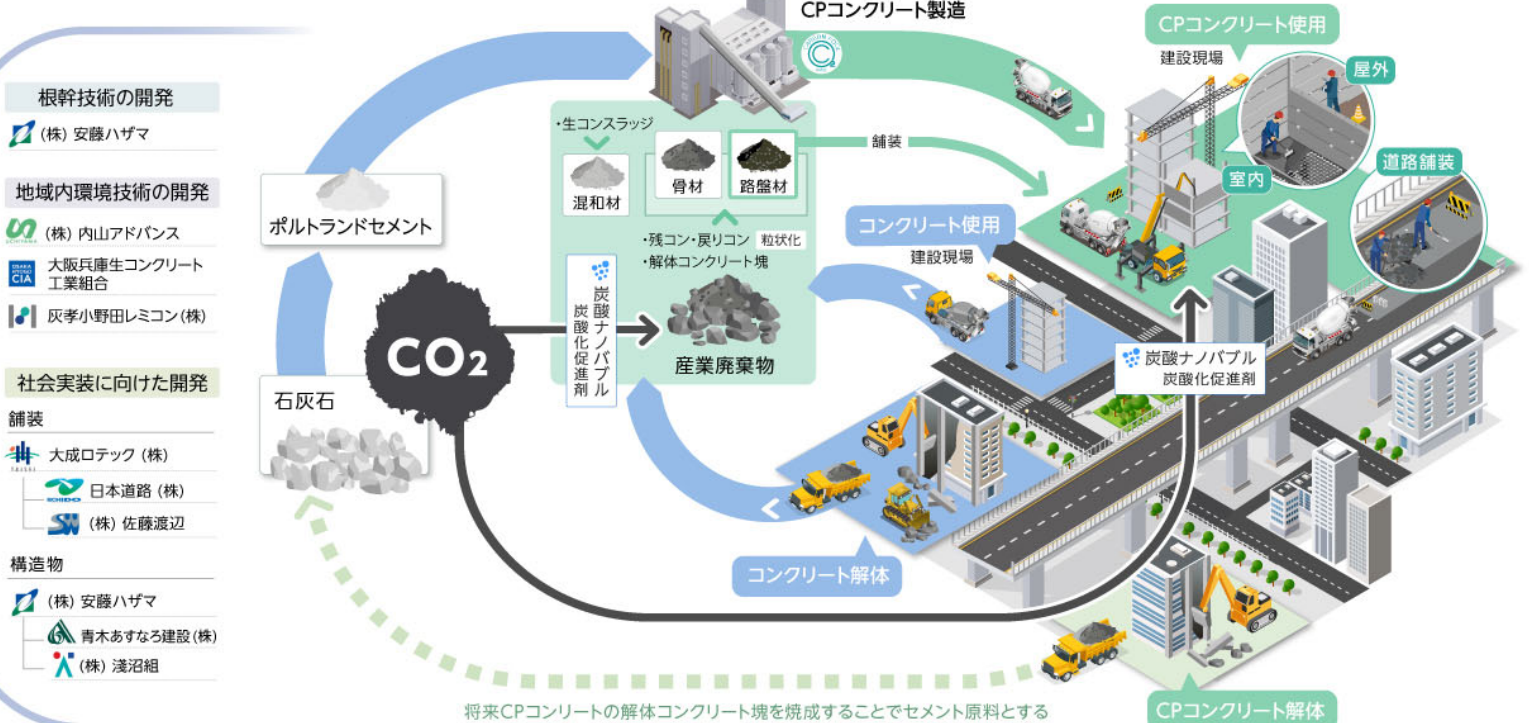
**事業期間**  
2021年度～2030年度 (10年間)

## 事業イメージ

### LCCO<sub>2</sub>・LCA・LCC 総合評価設計システムの構築



### CARBON POOLコンクリートの開発と実装



出典：株式会社 安藤・間、株式会社内山アドバンス、灰孝小野田レミコン株式会社、大阪兵庫生コンクリート工業組合、大成ロテック株式会社、一般財団法人電力中央研究所